



みさきっ子

第36号
喜屋武小学校学校新聞
発行者：校長伊川治美

大運動会!みんながんばる

1年生にとっては初めての運動会



台風21号も去り、待ちに待った大運動会が、10月4日に実施され、児童一人一人が競技や演技等に全力を尽くしました。

4月に入学したばかりの1年生にとって初めての運動会。小学校生活にも慣れ、基本的な生活や学習面等でしっかり身につきました。緊張と楽しさを味わい、はつらつと競技や演技に臨みました。1年生のえいもりかいむさんは「玉入れで人生楽あり苦もあるさをやったこと。かけっこやはたをもつてのダンスが楽しかった。また、うれしかったことは、ごほうびに先生から、さんすうのノートをもらったことです」と作文に綴っていました。

特に低学年は、小さな体でゴールまでがんばったかけっこや白と青のコントラストで「海と波」を表現したリズム演技は見事なものでした。

また、本校の先輩としてリーダーシップを発揮している6学年は、小学校最後の運動会とあって、エイサーにかける意気込みは素晴らしいものがあり、その練習の結果を大勢の前で披露しました。

(6年生全員の感想を記載)

さらに、「わたた一学校」の運動会とあって、準備から片付け及び競技・演技種目に多くの保護者・地域の皆さんが参加し大運動会を盛り上げてくれました。この機会を通して、児童一人一人の成長があり、地域の学校(創立135年)として保護者・地域の皆さんから愛され期待されていくことでしょう。

<大運動会シーン>



6年生にとって小学校最後の運動会

学校のリーダーとして、後輩に優しく、学習への取り組みや諸行事に意欲的である6年生。本学年の皆さんにとって小学校最後の運動会。期待通りに競技や演技を披露しました。一人一人が感じたことの要点をまとめてみました。

○波平双葉さん

放送係としてとても緊張しましたが、のりお先生の励ましでうまくできました。親子団技では、以前から考えていたサプライズも成功し今までの気持ちを伝えることができました。エイサーでは、「足を大きくあげることや声を出すこと」など、練習の成果が発揮できたと思っています。中学校でもがんばりたいです。

○徳嶺亜佑夢さん

進行係として準備でいそがしかったが進行がおくれなくて嬉しかったです。親子団技でお父さんと息ピッチに「一、二・一、二」のかけ声をがんばりました。エイサーでは、全部で4曲踊り、声がかれるぐらいだし、足も思い切りあげ、手も空をつかむぐらいのばしました。練習より良い演技になりました。練習の時の繰り返しは本番では倍以上発揮できました。来年は中学生。下級生も練習から本番で倍以上だせるよう頑張りたいと思います。

○玉井俊輔さん

エイサーは、ぼく達6年生にとって最後なので後悔しないようがんばりました。新しい踊りも教えてもらった。暑い中での練習中は、少しぐらついたけれど大丈夫でした。本番では、まちがえないように踊った。お母さんが、「良いエイサーだと」言ってくれたので良かったです。反省している所は、お母さん達へのサプライズです。とてもはずかしくて手をにぎることができず、ダンスもいつものようにできなかったことです。でも、最後にハグできて良かったです。

○島元浩志さん

エイサーは、大太鼓のリーダーを務め、毎日練習しその成果を発揮することができた。親子団技後の親に向けたサプライズは、はずかしかったがしっかりできました。リレー競技では、アンカーで一位をとることができうれしかったです。

○志茂恋桜さん

今回で6回目の運動会。思い返してみればこんなにやっていたのかと思いました。今年は、赤組となり観察係も務めました。一番がんばった事は、親子団技です。親や英幸先生にサプライズしました。ダンスも覚えられ、メダルやプラカードもやりました。今年はとても楽しい運動会でした。

○仲西史也さん

エイサーは、4曲すべて完ぺきでした。本番では、しっかり声や手のふりなどもしっかりできたので良かったです。ハーエースープは、本番では、上位に入れたので良かったです。応援係としてしっかりでき悔いのない運動会でありました。

○仲門音音さん

私たちにとって今年最後の運動会。一番楽しい運動会にしようと思いました。最高のエイサーができました。6年生を中心に行った運動会に後輩たちがついてきてうれしかったです。一人一人が最高の演技をはっきりしてくれたのでうれしかったです。

6年生にとって小学校最後の運動会

○千葉悠平さん

旗持ちで親の前を通ることが恥ずかしかったです。親子団技は親と力を合わせて頑張りました。エイサーが一番練習をやったので特に七月エイサーは、大声を出し頑張りました。心に残っているのは親子団技です。僕が一輪車で母を乗せ押すことができたことと母から安定があって良かったと言ってくれたのでうれしかったです。

○渡慶次汐音さん

運動会でがんばったことは、エイサーです。練習では、間違えることがたくさんあり、太鼓をたたく数が多かったり、たたく所をたたかなかつたりと失敗ばかりでしたが、本番では、衣装も着て格好いい姿で披露しました。来年は、私たちの倍以上に演技し最高の運動会にしてほしいです。

○宮西勇璃さん

9月からの練習で3曲覚えたエイサーを披露した時です。エイサーは、みんなが同じ動きをした時に感動が起きます。そのため、一人でも足を上げてなかったり、手を伸ばしていなかったら格好悪くなります。しっかり足を上げ、手を伸ばしました。そして見事大成功させることができました。リレーで一位をとれたのは、チームの皆が、しっかり団結したからだと考えます。

○伊禮樹音さん

エイサーが始まると緊張しすぎて、少し間違えてしまいました。練習では間違えていたので、本番では直すことができました。今年の運動会は、赤組は負けてしまいました。でも、とても楽しかったので良かったです。

○志茂佑さん

演技の途中に必要な物を準備したりする係であった。タイミングが必要で難しかったです。エイサーとリレーは頑張りました。エイサーは皆と合わせ、リレーはバトンパスを一生懸命頑張りました。友人とのトラブルが反省点です。その後は、仲良くでき今後の反省にいかしたいです。

○稲嶺綾也さん

心に残ったのは、親子団技とエイサーです。親子団技は、デカパン競争、ボール運び、一輪車競技の3レースでした。ぼくとお父さんはボール運びに出場しました。息があっていませんでしたが・・・親や担任にサプライズしたことは良かったです。エイサーでは、ほとんどの曲で間違わなかったが、ヒットリを間違えてしまつてくやしかったです。支部対抗リレーは、5位になれて良かった。

○南 右京さん

準備係として、幼稚園の演技の準備などをしました。うまく準備、片付けもできました。親子団技では、ぼくたちのサプライズをして大成功でした。エイサーは、最後の運動会だから、力を出しきろうと思いがらがんばりました。リレーは、2位になってうれしかったです。

○新田清崇さん

運動会の目標は、赤組みんな協力し合うことと最後の運動会なので全力を出しきることでした。一番目の出番は、親子レク。お父さんとペアでしたが、白組に負けてしまった。次の出番は、綱引き・応援合戦でした。赤組団長として自覚も持てました。結果負けてしまいました。エイサーでは、足を上げ、声を出し、会場のお客さん全員を感動させることができました。小学校の運動会。皆と楽しくがんばることができたのでうれしいです。紙面の都合上、○北谷朋輝さん、○新垣滯さん、千葉涼平さんの感想は次号でお知らせします。



糸満市敬老会で発表

沖縄偕生園会福祉コンクール(作文)入賞千葉涼平さん(6年)

沖縄偕生園会福祉コンクール作文の部で入賞しました千葉涼平さん(6年生)が、10月7日(水)NBCサミング・フォー西崎で開催された「糸満市敬老会」で朗読しました。

同作文は、毎年、沖縄偕生園会が公募するコンクールで毎年本校から多数の児童が入賞しています。

今年度上位入賞を果たした千葉涼平さんの作文は素晴らしい内容でしたので紹介します。



「ぼくのひいばあちゃん」

6年 千葉涼平

ぼくには、今年85歳になるひいばあちゃんがあります。

ひいばあちゃんのところに遊びに行くと、

ぼくは、「おばあ元気だったね。」と聞くと、おばあ

は、「おばあは、ちゃーがんじゅー元気だよ。大きくなったね、おりこうさんになってよー。」と方言まじりに話してくれました。

おばあは、戦争も体験しています。今年は戦後70年、話も聞きました。おばあは、体に傷はありませんが、心の中には、目に見えない深い傷があると思います。おばあのその傷は、決してなくなることはできないと思います。いやー忘れてたくても忘れることのできないのです。

でも、ぼくは、おばあーの体験も心にとめて、平和な時代が続くように、伝えていきたい。おばあーには、楽しく生きてほしいです。

おばあは、もともとは魚屋さんをしていました。80歳を過ぎてもがばり屋で休むことなく働いていました。

しかし、二年前体調をくずし、元気だったおばあは、ベッドの上で生活をするようになりました。

今年の5月に、85歳のおばあのお祝いがありました。その時おばあは、車イスに乗って元気に参加してくれました。

その時、ぼくは、少しだけほっとしました。なぜなら、もっと元気がないと思っていたおばあが笑顔でぼくの前にいたからです。

おばあちゃんのために、余きょうも練習してダンスと家族で歌をプレゼントしました。三線で「ていんさぐの花」を歌いました。

「ウトゥスイヤ宝」

というクガニ言葉も紹介しました。最初は意味も知りませんでした。しかし、お母さんから話を聞くと、「ウトゥスイヤ宝」と言う言葉は「年寄り宝」という意味だそうです。

ぼくは、その意味を聞きお年寄りを大事にする敬う気持ちで接したいと思っています。

ひいおばあちゃんがいなければ、ぼくは、ここにはいません。なので、ひいおばあちゃんをいつまでも、いつまでも大切にしていこうという気持ちがさらに強くなりました。いつも、感謝の気持ちを持ち、色々なことに取り組みたいと思います。ひいおばあちゃん、これからも長生きしてね。

